

令和3年度 決算の概要

構成市町の財政状況が厳しさを増す中、限られた財源を真に必要な施策・事業に重点配分するとともに、適正で安定した廃棄物処理事業を継続するため、以下の取組を行いました。

- ① 令和5年度稼働に向けたごみ中継施設更新工事の実施
- ② 基本・実施設計など、工事着手に向けた新事務所棟の建設推進
- ③ クリーン21長谷山長寿命化総合計画に基づく整備計画の検討
- ④ 「ボトルtoボトルリサイクル」事業に係る協定締結や廃棄物発電、プラスチック製容器包装資源化など、循環型社会構築に向けた事業の推進
- ⑤ 人事評価制度の活用や職場OJT活動による人材育成及び組織力強化に向けた取組推進
- ⑥ キャッシュレス決済の導入、Web会議の実施やテレワーク環境の整備など、デジタル化の推進
- ⑦ 環境マネジメントシステムに基づく継続的改善活動及び地球温暖化対策実行計画（第4期）の推進
- ⑧ 環境学習の充実、京都文教大学との授業連携や広報紙・Web・SNS・組合キャラクター活用による環境啓発の推進

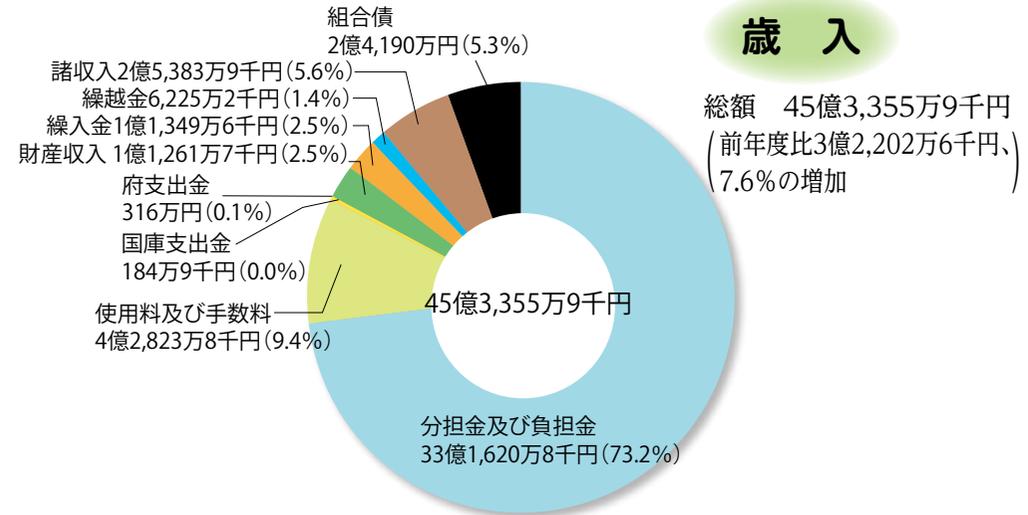
管内住民の皆さんの年間の経費負担

し尿処理：864円/人(1,086円) ごみ処理：8,146円/人(7,780円)

※管内人口：359,187人（令和4年4月1日現在）

※カッコ内の数字は前年度実績

歳入



歳出

